

## 劣化ウラン

### 劣化ウラン れっかうらん

U-235の同位体存在比が天然のものよりも少ないウランをいう。天然ウランの同位体組成は、U-234が0.0057%、U-235が0.714%、U-238が99.3%である。このウランを軽水炉の燃料として使用するためには、U-235の割合をおよそ3~4%に高めたウラン、すなわち濃縮ウランを必要とする。この濃縮ウランを製造すると、U-235の割合が0.2%程度のウランが残る。このウランを劣化ウランという。劣化ウランは、高速増殖炉の燃料の親物質として使用できるので、廃棄物になるわけではない。

---

<登録年月>

1998年01月

---

---